

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十九年十一月度 入選句 (投稿総数三千三百九十二句・小中学投句数二千九百七十六句)

特選

むしかごのかまきりかあさんたまごうむ 大垣市 伊藤 杏(小一)

すっかり観察していらつしやいますね。毎日毎日お世話をして身体の様子や手足等の動きをよく見てましたね。字余りですが、飼育しているかまきりの成長の様子、ましてやすくすばらしいところまでしっかり観察していらつしやったので選びました。たまごを産む瞬間を観察できたなんて、本当にすばらしいですね。感動がひしひしと伝わってきました。これからもかわいがって観察されることでしょう。とつてもすてきな感動の句ですね。

つめの中真っ黒にしておいもほり 大垣市 小野木 優真(小三)

一生懸命おいも掘りをしていらつしやる様子が伝わってきます。とつても大きな大きなおいもだつたのですね。手袋もはめずに真剣においも掘りに挑戦していらつしやる様子。上五の「つめの中」中七の「真っ黒にして」のところからわかります。頑張ってたくさんのおいもを掘っておいも料理をしたり語り合ったりされたのですね。一生懸命頑張った分すばらしい句ができましたね。

やきいものきいろいおなかおいしそう 大垣市 廣田 琴乃(小二)

おいも掘りをした後においもパーティーをされたのですね。焼きいもや蒸しいも等作られたのでしょうか。その中に自分の掘ったおいもが焼かれ、おいしそうに黄色い色をしていたのですね。よだれが出そうです。よく観て作句されていますね。「やきいものきいろいおなか」大きな焼きいも、切った面の様子等詳しく観ていてねいに詠んでいらつしやつて、とつてもすばらしい句ですね。

秀逸

早朝に街をおおった深い霧 美濃加茂市 西野 渚紗(中一)

北風と競争してる駅伝大会 美濃加茂市 小島 花歩(中三)

川沿いの道も真っ赤にもみじの木 美濃加茂市 則竹 晃太郎(中三)

きんいろにかがやくうみのいなほかな 大垣市 高橋 松之助(小一)

白い息私をおいて消えていく 美濃加茂市 宮崎 鈴(中三)

秋の空高くそびえる五重塔 大垣市 齋藤 優衣(小六)

あざやかな紅葉の衣装着込む山 大垣市 野田 海都(小六)

木がらしは葉っぱを飛ばす名人だ 大垣市 坪内 哲平(小三)

あつあつでやけどしそうなおでんなべ 大垣市 遠藤 瑠希(小四)

大空を遊びまくる台風だ 大垣市 傍島 成耶(小六)

入選

赤染まる秋の終わりの頬と空 美濃加茂市 近藤 祐名(中二)
 汗落ちる涙がうつす中体連 美濃加茂市 井戸ジエシカ果林(中二)
 大航海空に輝くいわし雲 美濃加茂市 山本 虎太郎(中二)
 雨の日に虹のかささすそこは晴れ 美濃加茂市 藤吉 瑠夏(中三)
 障子はる祖母の姿を真似したい 美濃加茂市 小椋 千穂(中三)
 ぎんなんのにおいがただよう今日の朝 美濃加茂市 スエド ノルソン(中三)
 木枯らしに枯れ葉静かにさつていく 美濃加茂市 鳥澤 美友(中三)
 君と見るひかり輝くお月さま 美濃加茂市 加藤 展弥(中三)
 初めてのお揃いマフラーチエック柄 美濃加茂市 渡辺 留妃(中三)
 手のひらにそっくりもみじまた一まい 大垣市 三輪 千翔(小四)

入選

バツタさんどこにむかってとんでるの 大垣市 伊藤 悠真(小二)
 じてんしゃのかごととまったあかとんぼ 大垣市 伊藤 杏(小二)
 つらら伸びたまらず伸ばす服の袖 大垣市 田中 優季(中二)
 さむいふゆかぜのつよさにまけちゃった 大垣市 ぬのめ くれは(小三)
 しもばしらいちめんじゅうにひろがった 大垣市 河村 れん太ろう(小三)
 十五夜のおだんごこつそり食べちゃった 大垣市 とみおか あかね(小三)
 かきりんごかじった音までおいしいね 大垣市 藤原 唯良(小三)
 お父さんメガネくもるよなべのゆ気 大垣市 成瀬 謙伸(小三)
 あと一周三日月を見てがんばるぞ 大垣市 國嶋 小春(小四)
 ほっかほか家族で囲むくりご飯 大垣市 小川 慎太郎(小六)

選者吟

川風と陽あたりを受け大根干す

勝子